



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 新日本無線株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6911 URL http://www.njr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 良
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 須藤 雅教 TEL 03-5642-8222
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,672	△0.5	376	△53.3	282	△67.6	137	△85.1
28年3月期第1四半期	11,737	14.0	807	35.6	871	46.8	918	△38.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △194百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 965百万円 (△34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	3.51	—
28年3月期第1四半期	23.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	40,662	10,472	25.8	267.70
28年3月期	40,254	10,666	26.5	272.67

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,472百万円 28年3月期 10,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,600	3.1	1,450	△23.7	1,500	△22.3	1,450	△21.7	37.06
通期	50,000	4.6	3,200	2.3	3,250	5.0	3,000	20.2	76.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	39,131,000株	28年3月期	39,131,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	9,938株	28年3月期	9,938株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	39,121,062株	28年3月期1Q	39,121,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等は「添付資料」2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）における世界経済は、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化に、英国のEU離脱決定による欧州経済の不安定化等が加わり、力強さを欠いたものとなっております。

わが国経済においても、雇用環境は良好な状態を維持しているものの、世界経済の不安定化を背景とした急速な円高・株安の進行により企業業績や景況感が後退しており、先行き不透明な状況となっております。

このような経済状況の中、当社グループでは、中長期的な業績の拡大に向けたFORWARD戦略を継続して実施し、SAW(Surface Acoustic Wave)やMEMS(Micro Electrical Mechanical Systems)といった従来の半導体製品の枠にとどまらない電子デバイス製品の開発、事業展開に注力したほか、マイクロ波製品についても、衛星通信用超小型送信機の開発を進めました。また、既存製品については、電子デバイス製品は安定的に市場が拡大している車載・産業機器向けの拡販を進めることで業績の安定化に努めました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、円高の影響はあるものの、主力の電子デバイス製品において、車載品の堅調とマイクロ波デバイス（GaAs IC）の好調の持続が下支えし、さらに子会社受託生産販売の特需もあって、売上高は前年同期間と比べて微減にとどまりました。一方で、受注残高の解消に向けた生産数量の増加に伴い人件費等の固定費が増加し、営業利益は前年同期間と比べて大幅に減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高	11,672百万円	（前年同期間比	0.5%減）
営業利益	376百万円	（前年同期間比	53.3%減）
経常利益	282百万円	（前年同期間比	67.6%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	137百万円	（前年同期間比	85.1%減）

セグメント情報については次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「マイクロ波管・周辺機器」、「マイクロ波応用製品」および「電子デバイス」の3区分から、「マイクロ波製品」および「電子デバイス製品」の2区分に変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(マイクロ波製品)

電子管・レーダーコンポーネントについては、官公需・民需ともに主要顧客の販売減による在庫調整があり、大幅な売上減となりました。一方、衛星通信用コンポーネントについては、海外顧客が多く、円高の影響を受けたものの、新製品の販売が好調で、全体として堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高、営業利益とも、前年同期間と比べて低調なものとなりました。

売上高	1,386百万円	（前年同期間比	9.2%減）
セグメント利益	142百万円	（前年同期間比	47.7%減）

(電子デバイス製品)

主力のオペアンプ・コンパレータは、中国経済の鈍化により低調な売上となりましたが、拡販を進めている車載品については、堅調な売上となりました。スマートフォン市場においては、SAWフィルタのファウンドリービジネスは低調な売上となりましたが、マイクロ波デバイスの販売は引き続き好調に推移いたしました。さらに、受託生産販売も好調に推移したことにより、円高の影響はあるものの、売上は全体として堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期間と比べて微増となったものの、人件費の増加、費用増等により、営業利益は低調なものとなりました。

売上高	10,286百万円	（前年同期間比	0.7%増）
セグメント利益	674百万円	（前年同期間比	26.8%減）

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末（平成28年6月30日）の資産合計は、仕掛品の増加等により前年度末比407百万円増加して40,662百万円となりました。負債合計は、短期借入金等の増加等により前年度末比602百万円増加して30,189百万円となりました。この結果、純資産合計は、前年度末比194百万円減少して10,472百万円となり、自己資本比率は前年度末比0.7ポイント減少して25.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成29年3月期第2四半期連結累計期間および通期業績予想につきましては、平成28年4月28日公表の数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661	1,432
受取手形及び売掛金	8,977	9,083
電子記録債権	2,145	2,333
商品及び製品	3,474	3,182
仕掛品	6,710	7,265
原材料及び貯蔵品	3,108	3,279
繰延税金資産	799	670
その他	533	544
流動資産合計	27,410	27,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,998	25,973
減価償却累計額	△20,598	△20,589
建物及び構築物(純額)	5,400	5,383
機械装置及び運搬具	62,959	62,756
減価償却累計額	△58,965	△58,632
機械装置及び運搬具(純額)	3,993	4,124
工具、器具及び備品	12,511	12,440
減価償却累計額	△11,069	△11,078
工具、器具及び備品(純額)	1,441	1,362
その他	662	621
有形固定資産合計	11,498	11,491
無形固定資産	192	238
投資その他の資産		
投資有価証券	496	443
繰延税金資産	64	79
その他	593	618
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,152	1,140
固定資産合計	12,843	12,869
資産合計	40,254	40,662

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,276	3,525
電子記録債務	—	1,375
短期借入金	5,589	6,408
1年内返済予定の長期借入金	4,473	4,465
未払法人税等	190	110
役員賞与引当金	35	—
その他	5,468	4,878
流動負債合計	20,033	20,764
固定負債		
長期借入金	460	445
繰延税金負債	156	126
退職給付に係る負債	8,247	8,250
環境対策引当金	19	19
資産除去債務	55	55
その他	614	529
固定負債合計	9,553	9,425
負債合計	29,587	30,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,220	5,220
資本剰余金	5,223	5,223
利益剰余金	1,623	1,760
自己株式	△4	△4
株主資本合計	12,062	12,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	178
為替換算調整勘定	△505	△831
退職給付に係る調整累計額	△1,105	△1,074
その他の包括利益累計額合計	△1,395	△1,726
純資産合計	10,666	10,472
負債純資産合計	40,254	40,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	11,737	11,672
売上原価	9,120	9,395
売上総利益	2,617	2,277
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	771	821
退職給付費用	18	29
開発研究費	365	374
その他	653	675
販売費及び一般管理費合計	1,809	1,900
営業利益	807	376
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
為替差益	39	—
屑売却益	25	14
受取賃貸料	18	17
その他	5	5
営業外収益合計	92	41
営業外費用		
支払利息	22	17
為替差損	—	112
その他	5	6
営業外費用合計	28	136
経常利益	871	282
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	871	270
法人税、住民税及び事業税	45	36
法人税等調整額	△92	96
法人税等合計	△47	133
四半期純利益	918	137
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	918	137

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	918	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	△36
為替換算調整勘定	△30	△325
退職給付に係る調整額	2	31
その他の包括利益合計	46	△331
四半期包括利益	965	△194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	965	△194
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 製品	電子デバイス 製品			
売上高					
外部顧客への売上高	1,526	10,210	11,737	—	11,737
セグメント利益	273	922	1,195	△387	807

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△387百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 製品	電子デバイス 製品			
売上高					
外部顧客への売上高	1,386	10,286	11,672	—	11,672
セグメント利益	142	674	817	△440	376

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△440百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「マイクロ波管・周辺機器」、「マイクロ波応用製品」および「電子デバイス」の3区分から、「マイクロ波製品」および「電子デバイス製品」の2区分に変更しております。

この変更は、当連結会計年度の当社におけるマイクロ波事業の統合的かつ効率的な事業推進を目的とした組織変更に伴い、「マイクロ波管・周辺機器」と「マイクロ波応用製品」の区分を統合し、「マイクロ波製品」としたためであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上